

にも回ってきているのだ。今後、東京はどうなってしまうのか。偏西風の蛇行がおさまり、春先に寒気が流れ込んできて、季節外れの寒さや雪を頻発させる可能性もある。'07年がまさにこうした気候で、東京に初雪が降ったのは3月16日だった。

しかし、前出の森朗氏は別の可能性を指摘する。「温暖化が北極域の寒気を打ち消し、3月、4月も暖かいままということもありえます」つまり、今年の東京は冬を飛ばしてそのまま春に突入するのだ。これでは、四季の国ならぬ「三

季の国」だ。「こうした状況が毎年のように続けば、偏西風の流れにも影響が出てくる。日本の冬が消滅することもある」（森朗氏）外で雪が降る中、こたつに入ってミカンを食べる、そんな光景も過去のものとなるかもしれない。

4

ありえない台風と 激しすぎる豪雨は 今年も必ずやってくる

「家に水が流れ込んできた瞬間の光景が、今でも忘れられません」

こう語るのは福島県いわき市在住の本田美奈子さん（48歳・仮名）だ。昨年10月、台風19号で、自宅の1階部分が浸水する被害にあった。

「家に水が流れ込んできた瞬間の光景が、今でも忘れられません」

仕事から帰る途中、激しく増水する川を見ながら、「これはまずい」と思

が上昇しているためだと考えられるのです」（同）

気象庁の調査によれば、海面水温の上昇は地球温暖化による影響が大きい

喘息、心臓病、めまいなど様々だ。

「気象病の患者は、数ヘクトパスカルの気圧差で

見通しがついたという。しかし、大雨が降れば「また浸水するのではなにか」と不安がよぎる。昨年10月に襲来した台風19号によって、関東から甲信越、東北地方には大きな被害もたらされた。住宅の全壊は全国で3280棟、半壊は2万9638棟に及んでいる。なぜこれほど甚大な被害

特別警報」が出され、長時間の豪雨により、河川の氾濫や浸水害、土砂災害が多発した。死者数が

令和元年分

確定申告

詳しくは↓
確定申告 検索



スマホで
申告
できます

所得税および復興特別所得税・贈与税

申告と納税 令和2年 3月16日(月)まで

害を巻き起こしたのか。横浜国立大学教育学部准教授で台風の専門家である筆保弘徳氏が解説する。「これまでの台風は、北上するとともに次第に勢力を弱め、日本に上陸する頃には、発生時よりも小さくなっていることがほとんどでした。しかし台風19号は、勢力を維持したまま日本列島に襲いかかってきたのです」筆保氏の研究によると、近年こうしたタイプの台風が増加していると言っている。「ここ100年で上陸した台風を調べると、上陸数はそれほど変わらない。しかし、明らかに勢力の強い台風が増えていま

は水蒸気だ。「地球温暖化により気温や水温が上昇すると、大気に含まれる水蒸気が増

草まで失い、廃業せざるをえないと嘆く人もいます」（平野氏）